

# ア ジ ア 日 誌

4 月 1 日 — 5 月 23 日

## 世界・国連

4月3日

◆列国議会同盟(IPU), ジュネーヴで会議を開き, 韓国の加盟を決定(3~9日)。

4月10日

◆国連総会信託統治委員会で米国など25カ国はベルギー信託統治領ルアンダウレンジの独立決議案を提出。  
◆A・A 諸国連帯委員会第3回総会バンドンで開く。

4月11日

◆国連のマラヤ, エール, タイ3国代表はチベットの人權問題で加盟国の協力を要請する決議案を提出。

4月13日

◆南アフリカ連邦の種差別を非難したアジア諸国決議案が国連総会で採択された。

4月14日

◆西ドイツ, 年間25億マルクの低開発国援助費の支出を暫定決定。  
◆A・A 諸国, ポルトガルに対しアンゴラ問題に関して緊急措置をとるよう要求した決議案を提出。  
◆アジア生産性機構(APO)の規約採決署名会議で日本, 韓国, ネパール, パキスタン, タイ, フィリピン の6カ国代表が規約に調印。

4月18日

◆米政府は国連コンゴ作戦費に4750万ドル支払うことを申し出た。

4月19日

◆国連総会, モーリタニア共和国および外モンゴルが国連に加盟すべきだと宣言した提案を可決。

4月20日

◆国連信託統治委員会, 英信託統治領カメルーンがナイジェリア連邦と

合邦することを決めた住民投票を承認。

5月3日

◆SEATO, ラオス情勢検討のための緊急会議開く。

◆アジア反共連盟第7回総会, マニラで開く(3~6日)。

5月9日

◆ジョンソン米副大統領, 東南アジア諸国訪問に出発。

5月10日

◆NATO 理事会, ポルトガルのアンゴラ植民政策を修正するよう警告。

5月11日

◆ニュージーランド委任統治領の西サモア, 住民投票の結果独立を決定。

◆国連, ルムンバ暗殺事件の調査を開始。

5月12日

◆非同盟諸国首脳会議にインド, ソマリアなど20カ国が参加の意向を表明。

## 東 ア ジ ア

中国, 台湾, 南北朝鮮, モンゴル, チベット, 香港, 日本

4月1日

◆中国とインドネシア, 文化協力協定, 友好条約, 共同コミュニケに調印。

4月2日

◆韓国の大邱で大規模な反政府デモ行なわる。

◆インドネシア訪問中の陳毅中国外交部長は, ラオス紛争にSEATOが介入すれば, 中国は同国に派兵する用意ありと語った。

4月4日

◆中国政府当局, ラオス問題に關す

るソ連回答を支持。

4月7日

◆中国経済使節団, ナイジェリア訪問。

◆韓国国防相, 同国巡視船と北鮮船舶が東海域で交戦したと発表。

4月10日

◆日本政府, 中国など共產圏4カ国との貿易に強制バーター制撤廃。

4月11日

◆日本とシンガポール間の「所得に対する租税の二重課税及び脱税防止のための条約」, シンガポールで調印される。

4月12日

◆日本経済使節団, パキスタン第2次5カ年計画状況視察に出発。

4月13日

◆国府当局はビルマ国境の残存ゲリラの引き上げが行なわれたと報ずるとともに, 残留部隊の一部が送還を拒んで残留したと述べた。  
◆中国外交部は米国の南ヴェトナム干渉を非難する声明を発表。

4月15日

◆韓国外交部は米韓行政協定に関する会談が17日に行なわれると発表。

4月17日

◆ラスク米国務長官は韓国に新たに1500万ドルの援助増額すると発表。

4月18日

◆第104回米中大使会談, ワルシャワで開催。

4月20日

◆中国政府はキューバ国民闘争を支援すると声明。

4月25日

◆周恩来首相とプーマ殿下共同声明を発表。

4月26日

◆モロッコ王国と日本、ラバトで貿易協定に調印。

4月27日

◆中国とモンゴル、通商条約およびバーター議定書に調印。

4月28日

◆中国は経済技術協力協定に基づきインドネシアに2980万ドルの融資を決定。

5月1日

◆アイゼンハワー前米大統領、内外情勢緊張のため訪日を中止。

5月2日

◆中国とカンボジア、友好不可侵条約批准書交換。

5月3日

◆世銀、日本国有鉄道に対する8000万ドル借款契約に調印。

5月8日

◆周恩来首相、シアヌーク・カンボジア元首に対しジュネーブ会議に参加するよう翻意を促すメッセージを送った。

5月9日

◆中国・ビルマ国境合同委で両国の新国境線が最終的に完成。  
◆日本とビルマとの貿易取り決め1年間延長を決定し文書を交換。

5月10日

◆ブラド・ペルー大統領来日。

5月15日

◆ジョンソン米副大統領と蔣介石国府総統は北京政府を承認せずとの共同声明を発表。  
◆中国と東独、バーター議定書に調印。

5月16日

◆韓国で軍部によるクーデターが起こり、軍が三権を掌握。革命委員長は張都暎中将。駐韓米大使館当局は合憲的な張勉内閣を支持するとの声明を発表。  
◆ビルマと北鮮両国は相互に領事館開設につき同意。北鮮貿易・友好使節団ラングーンを訪問。

5月18日

◆韓国の張勉内閣は総辞職し、尹潽

善大統領は正式に戒厳令を布告。

5月22日

◆韓国の国家再建最高会議、国内の全政党に解散を命令。

5月23日

◆韓国国家再建最高会議は、マグルーダー国連軍司令官と朴正熙再建会議副議長との間で起草された「国連軍司令官の韓国軍に対する指導権の復活」についての協定草案承認を拒否。

## 東南アジア

フィリピン、タイ、南北ヴェトナム、ラオス、カンボジア、マラヤ、シンガポール、インドネシア、北ボルネオ、サラワク

4月1日

◆ソ連、ラオス問題に関する英提案に回答し、英ソ共同の停戦呼びかけに賛成。

◆南ヴェトナム政府、4900万ドルにのぼる経済開発5カ年計画を発表。

4月2日

◆南ヴェトナムのサイゴン付近で政府軍とゲリラが交戦。

◆シンガポール政府、経済開発4カ年計画を発表。

4月3日

◆米国と南ヴェトナム、友好通商条約調印。

4月4日

◆北セレベスの反政府軍投降。

4月5日

◆オランダ領ニューギニアで立法評議会が発足し、開会式でポット国務相はニューギニアが1年以内にオランダと自決権交渉を開始するよう提案。

4月7日

◆西ジャワ当局、西ジャワの全ベルギー資産を接收。

◆米国務省、米国は南ヴェトナムにおける共産ゲリラの脅威の増大に対し南ヴェトナム政府と経済・軍事援助を討議していると発表。

4月8日

◆南ヴェトナム当局、ヴェトコンの選挙集会計画阻止のため数百人を逮捕。

4月9日

◆南ヴェトナム大統領選挙で、ゴ・ジンジェム前大統領有効投票の89.18%を獲得して再選さる。

◆南ヴェトナム大統領選挙の落選候補らは選管委に対し連名で選挙の不正を提訴。

4月10日

◆プーマ殿下訪米受諾。

◆英、ラオス停戦を早めるようソ連に新提案を行なった。

4月11日

◆日本とシンガポール間の「所得に対する租税の二重課税および脱税防止のための条約」、シンガポールで調印さる。

4月13日

◆カンボジア政府、ラオス問題に関する14カ国会議をプノンペンでなくジュネーブで開くように公式提案。

4月16日

◆ラオスのプーマ殿下、モスクワ訪問。

4月18日

◆ラオスのプーマ殿下は訪米をとりやめたと発表。

4月19日

◆アメリカはラオスのブンウム政府の軍事顧問団派遣要請に同意を与えたと発表。

◆マラヤ政府は第2次5カ年計画を議会に提出。

4月21日

◆英ソ両国政府、ラオス停戦呼びかけの共同声明発表に合意。

4月22日

◆ラオスのプーマ殿下北京訪問。

4月24日

◆インドネシアのスカルノ大統領ワシントン着。

4月25日

◆ラオス3派停戦呼びかけを受諾、スファヌボン殿下は早急に3派会議開催を提案。

◆プーマ殿下、北ヴェトナムのハノイに到着。

4月27日

◆ブンウム政府、停戦会談をルアンプラバンで開くよう提案。

4月28日

◆ラオス国際監視委、ニューデリーで3年ぶりに再開。

◆中国は経済技術協力協定に基づきインドネシアに2980万ドルの融資を決定。

◆世銀、タイの6カ年鉄道近代化計画に2200万ドルの借款を供与。

4月30日

◆ラオスのプーマ殿下、停戦3派会談をナモンで開くよう提案し、パテトラオは同案を受諾。

◆「ラオスの声」によると、プーマ政府はシエンクアン州に新首都を建設することに決定。

5月1日

◆カンボジアのシアヌーク元首、ラオス14カ国国際会議を主催するとの案を撤回すると発表。

◆インドネシアのスカルノ大統領、エクアドル訪問。

5月2日

◆中国とカンボジア、友好不可侵条約批准書交換。

5月3日

◆パテト・ラオ放送、全土に停戦を呼びかけ。

5月5日

◆ラオス3派の停戦予備会談ヒンホップで開く。

◆インドネシア政府、スカルノ大統領を批判した理由で米2誌を発禁。

5月7日

◆ラオス3派、停戦会談をナモンで開くことに同意。

◆北ヴェトナム政府、米機の領空侵犯に警告。

5月8日

◆ラオス国際監視委ビエンチャンに到着。

◆プーマ首班承認で西側3国が一致。

◆スカルノ大統領、ペルーからウルグアイ訪問。

5月9日

◆ラオスのブンウム政府代表はヒンホップを訪れた国際監視委代表と交渉することを拒否。

5月12日

◆ラオス国際監視委、両派の停戦保証の通知を受く。

◆ジョンソン米副大統領は、ゴ・ジンジェム南ヴェトナム大統領と軍事援助強化で完全な意見の一致をみたと発表。

◆北ヴェトナム政府は南ヴェトナムにおける米国の侵略的介入を阻止するため緊急措置をとるよう英・ソ両国に要求。

5月13日

◆ラオス3派は停戦文書に調印し、ナモンで公式会談開催に同意。

◆ジョンソン米副大統領とゴ・ジンジェム南ヴェトナム大統領は共同声明を発表し、南ヴェトナムの兵力をただちに2万増強するなど軍事・経済援助の拡大を発表。

◆マニラ訪問中のジョンソン米副大統領は、ガルシア・フィリピン大統領と共産勢力の東南アジア浸透阻止について話し合った。

5月16日

◆ラオス国際監視委、シエンクアンに常設小委員会を設置したと発表。

◆ジョンソン副大統領、バンコック到着。

◆ラオス国際会議開く。

5月17日

◆ナモンのラオス停戦会談で各派は連立内閣の結成と停戦監視のための合同委員会の設置で原則的に一致。

5月18日

◆ジョンソン米副大統領、ニューデリーに到着。

5月21日

◆カンボジアのシアヌーク元首はラオス3派首脳会談をジュネーブで開くよう提案。

◆ラオスのブンウム派代表は、パテト・ラオ代表が出席しているかぎり国際会議には出席しないと声明。

5月22日

◆ラオス国際会議は重要参加国の演

説が終わり、ラオス内政には干渉しないという点ではほぼ一致。

◆ラオスのブンウム政府のノサバン副首相は、タイ東北部でサリット・タイ首相と会談。

◆ラオス国民会議は「経済・軍事援助は国連を通じて行なうべきである」との決議を満場一致で採択。

◆ケネディ大統領は第3次平和部隊として300人をフィリピンに送ったと発表。

5月23日

◆タイ警察当局、ラオスに隣接する北東地域で共産分子を大量に検挙。

## 南 ア ジ ア

インド、パキスタン、セイロン、ビルマ、ネパール、ブータン

4月2日

◆インド・パキスタン文化協力促進会議、情報・文献交換など協力強化決議案を採択。

4月8日

◆東独経済使節団セイロン訪問。

4月17日

◆セイロンの北・東部でタミール語の公用語化をめぐる闘争が激化し、緊急事態が宣言された。

4月26日

◆セイロンで公用語問題で総動員令出る。

4月27日

◆ポルトガル領ゴアで反乱。

4月29日

◆西独、インド第3次5カ年計画に対し3億3000万マルクの新借款を供与する協定に調印。

5月9日

◆中国・ビルマ国境合同委で両国の新国境線が最終的に完成。

◆日本とビルマは両国の貿易取り決めの1年延長を決定し文書を交換。

◆ネール首相は、ナセル大統領に対し、非同盟諸国会議を積極的に支援せぬ旨通告したといわれる。

5月16日

◆ビルマと北鮮両国は相互に領事館

開設につき同意。北鮮貿易友好使節団ラングーン訪問。

5月20日

◆ジョンソン米副大統領、カラチ到着。

5月21日

◆ジョンソン米副大統領とアユブ・カーン・パキスタン大統領は会談のあと共同声明を発表、太平洋首脳会談を開くよう呼びかけた。

◆パキスタン空軍は国境付近で襲撃中のアフガニスタン軍に対し爆撃を加えたと発表、アフガニスタン当局は襲撃の報道を否定。

## 西南アジア

アフガニスタン、イラン、イラク、サウジアラビア、レバノン、ヨルダン、イスラエル、アラブ連合、パレレン、クウェート、カタール

4月4日

◆アフガニスタンのダウド首相夫妻訪ソ。

4月5日

◆英当局、スーダンに対しジェット練習機など軍事援助を送る。

4月16日

◆イラクとアラブ連合は2年ぶりに通商を再開。

4月23日

◆チトー大統領とナセル大統領は共同コミュニケの形で中立諸国会議の開催を提唱。

4月28日

◆ソ連・トルコ鉄道連絡協定アンカラで調印。

5月2日

◆イランのテヘラン市で賃上げ要求する教員スト起こる。

5月5日

◆イラン内閣総辞職し、後継首班にもと駐米大使アミニ氏指名さる。

5月9日

◆トルコ政府、南部で反乱暴動が起

こり、アラブ連合シリア地区との国境を閉鎖したと発表。

◆イラン議会解散。

## アフリカ

4月7日

◆中国経済使節団、ナイジェリア訪問。

4月9日

◆チュニジア訪問中のチトー・ユーゴ大統領はチュニスでアルジェリア臨時政府のアバス首相と会談。

4月13日

◆エチオピア、ソマリアおよび仏領ソマリランド国境付近のエチオピア領内で紛争が続発。

4月14日

◆ポルトガル領アンゴラに連日暴動が発生し、部分的な動員令が出された。

◆チトー・ユーゴ大統領とブルギバ・チュニジア大統領はアルジェリア問題に関して共同声明を発表。アバス・アルジェリア首相とチトー大統領も共同声明を発表。

4月16日

◆ポルトガルはアンゴラから同国人婦女子を避難のため空輸を開始。

4月18日

◆ポルトガル軍、アンゴラへ降下部隊を派遣。

4月22日

◆アルジェリア駐在の仏軍反乱し、首都の支配権握る。  
◆ポルトガル領モザンビークのムアニエでアフリカ人の反植民地暴動がおこる。

4月23日

◆ソマリアはソ連に経済・技術援助と有利な条件の長期借款の貸与を正式に要請。

4月25日

◆アルジェリア反乱鎮圧さる。  
◆コンゴ各派の指導者によるコキヤビル会議（4月25日～5月27日）はコンゴ国家連合の最初の憲法草案、一院制議会と大統領統治による連邦

共和国とすることなどを決定。

4月26日

◆ツォンベ・カタンガ州大統領、コンゴ政府軍に逮捕さる。  
◆フルシチョフ首相とモロッコ国王が相互訪問を発表。  
◆モロッコと日本、ラバトで貿易協定に調印。

4月27日

◆アフリカ西海岸の英植民地シエラレオネが独立。中共、承認を通告。

4月29日

◆マリ、ガーナ、ギニア3国、「アフリカ連邦」結成を決定。

4月30日

◆アフリカのカサブランカ・グループ諸国外相会議、カイロで開く（30日～5月3日）。

5月1日

◆英信託統治領タンガニカ、内政自治権を獲得。独立は12月。

5月7日

◆コンゴのボンボコ外相、ツォンベ・カタンガ州大統領を反逆罪で裁判にかけると発表。

5月8日

◆リベリアのモンロビアで15カ国参加によるアフリカ指導者会議（8～12日）は、内政不干渉の原則、南ア連邦に対する制裁措置などを決定。  
◆ギニアのセクー・トーレ大統領はナセル・アラブ連合大統領と会談のためカイロに到着。

5月10日

◆米当局は干ばつのチュニジアに食糧援助を送ると発表。

5月13日

◆カサブブ・コンゴ共和国大統領はコンゴ議会を招集すると発表。

5月20日

◆フランス、アルジェリア臨時政府両者のエビアン会議開かる。フランスは政治犯を釈放。

5月22日

◆ポランド国連統合議長、暴動の発生しているポルトガル領アンゴラの実情調査にあたる委員を任命。